

第3回CASE研究会 WEBセミナー

「自動運転の開発現場

と今後の展望」

参加無料

(事前申込制)

令和2年 **11月27日(金)** 13:30~15:50

今年度3回目となるCASE研究会は、【自動運転】をメインテーマに取り上げます。

自動運転車両は「レベル3(条件付自動運転)」が今年度中に販売される計画もあり、その実現に向け着々と研究開発が進んでいます。今回のセミナーでは、自動運転車両の普及を推進している国土交通省から最新動向と今後の展望について、また、東京大学発のベンチャー企業で各地で実証試験を実施している先進モビリティ株式会社には、自動運転車両の開発現場の実態についてご紹介していただきます。

開催概要

■ 形式 WEBセミナー(ライブ配信)

※Zoom社のWEBミーティングシステムを使用したセミナーです。

Zoomは「無料」で使用できます。

ただし、インターネット接続の通信料金は参加者負担となります。

■ 日時 令和2年11月27日(金)

○13:30~13:40 主催者挨拶、趣旨説明

○13:40~14:40

【講演1】「自動運転の実現に向けた取り組みについて」

国土交通省 自動車局 技術・環境政策課 専門官

岡本 慎平(おかもと しんぺい)氏

<概要> 国土交通省自動車局では自動車の安全基準の策定等による安全なクルマ作りの推進や先進技術を利用した安全運転支援システムを搭載する自動車の開発・実用化・普及の促進等を通じて、交通事故の削減に大きく貢献することを目的としています。本講演では自動運転の実現に向けた国土交通省自動車局の取り組みを紹介します。



○14:50~15:50 (※14:40~14:50は休憩時間)

【講演2】「自動運転バスの実証実験と社会実装に向けて」

先進モビリティ株式会社 商品開発部 部長

釘宮 航(くぎみや わたる)氏

<概要> 当社は、自動運転バスや隊列トラックといった社会に欠かせない大型商用車両の自動運転技術で「地域の交通・物流に関する課題の解決、新しいまちづくり・地域の活性化」をミッションとした、東大発のベンチャー企業です。自動運転車両の実証実験が盛んになり、当社も国内の様々なプロジェクトに参画してきました。本講演では、実証実験の取組状況や課題について、自動運転車両を開発する側の視点からご紹介します。



■ 定員 90名(募集期限:令和2年11月24日(火)) ※定員に達し次第、申込を締め切ります。

■ 申込方法 以下の公社ホームページの申込フォームからお申込みください。

<https://www.saitama-j.or.jp/seminar/case1127/>



【お問い合わせ】 公益財団法人埼玉県産業振興公社 新産業振興部 IoT・技術支援グループ

〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2

新都心ビジネス交流プラザ3階

TEL 048-621-7051

担当 西野

↑こちらのQRコードからお申込みいただけます。